

平成 24 年 3 月 2 日

「株式判例・事例研究会」第 26 回開催のご案内

株式会社 B S M 事務局

皆様方

平成 24 年 3 月 27 日(火)「株式判例・事例研究会 第 26 回」を、下記のとおりご案内申し上げます。今回も前回に引き続き「オリンパス事件」を取り扱います。

前回までの発表では、「オリンパス事件」の全体像を発表いたしました。1990 年代のバブル崩壊後、オリンパスは金融資産が抱える含み損を連結外のファンドへ飛ばすスキームを構築します。含み損を受け入れた受け皿ファンド、今度はその受け皿ファンドにオリンパスが資金を供給し、この損失隠しを解消する必要がありました。その方法として、国内 3 社を高額な金額で買収し、高額な FA 料をアドバイザーに支払うなどを行いました。このような莫大な資金を動かす上で取締役会、監査役会及び監査法人は機能していたのか？事件の中心人物ではありませんが、事件において責任ある立場の面々がどのような行動をしていたのかを中心に発表いたします。

前回以前の研究会にご参加出来なかった方にも分かりやすく、事件のスキーム説明も絡ませながら発表します。発表は弊社取締役の後藤英彦（公認会計士・税理士）です。前 2 回の研究会で配布いたしました資料を今回も使用しますのでご持参くださいますようお願い申し上げます。

会場は、いつもの LEC 東京リーガルマインドの会議室です。なお、公認会計士の方には、日本公認会計士協会 CPE 認定研修となりますので、3 単位が付与されます。

日本公認会計士協会 CPE 認定研修 (3 単位)	
日時	(第 26 回) 平成 24 年 3 月 27 日 (火) 19:00~21:30
テーマ	テーマ「オリンパス事件の真相に迫るー過去 20 年間の有価証券報告書分析による粉飾の解明ー③」 発表者：公認会計士・税理士 後藤英彦氏 (株式会社 B S M 取締役)
会場	LEC 東京リーガルマインド大学 千代田キャンパス 東京都千代田区三崎町 2-2-12 塩谷ビル A 2 1 教室 (地図上の A のビルです) ※1F に郵便局があるビルです
出欠のご確認	出席のご確認をしたく、下記メールにてご回答の程お願い申し上げます。



ご参加される方には、資料代とお夜食（弁当）の実費として¥2,000 のご負担をお願いしております。お申込みの方は、下記まで、ご一報をお願い致します。

株式会社 B S M 事務局

Tel 03-5275-3855 Fax 03-5275-3859

E-mail: info@bsmgroup.jp